



自動車航送船「有明丸」就航す



熊本駅の改装成る

阿蘇大爆発



死者12名、重軽傷者多数の大惨事

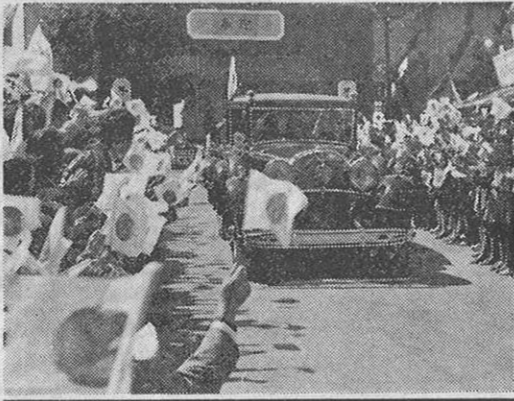


一瞬のうちに山上茶屋は崩れた

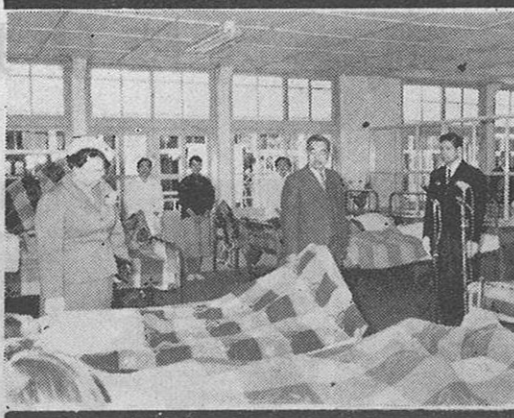


灰に埋れた火口際の待避場

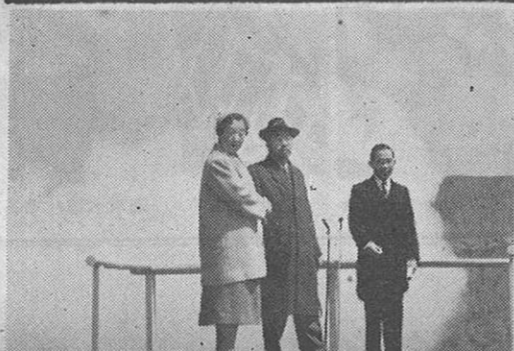
<行 幸 啓>



歓呼と日の丸の旗波の中を松橋駅に
第一歩を印された



旅のお疲れもみせず民生産業の各
施設をぐらんにした



阿蘇火口際にお立ちの
両陛下

県政一年の
歩みを追って



(写真は県庁正面玄関)

さよなら

1958年

いま、師走のあわただしさの中で、一九五八年の足音が漸く消え去ろうとしています。

一年
ツチ音高い建設のひびき、カンパツの忌々しい思い……これら起伏の大きかった波のうねりは、いまはただ無言劇のように私たちの脳裏をかすめながら三百六十五日の一コマ一コマの中で私たちが身近に経験した喜びや苦しみとともに、「過去」の深い谷間にその姿をかくし、「一ツ二ツ……と舞台の明りはしずかに消されてゆきます。

だが、そのむこうには、歴史の歩みが休みなく続けられて、すでに新たな年への胎動がかすかな呼吸をはじめているのです。

この鼓動にそつと耳をすましてみましょう。

そして、明日の、新しい年の県民の一人一人が希っているさゝやかな幸福を、私たちは手に手をとって、しっかりと掴んでゆこうではありませんか。

郷土の発展が、私たちの幸福への努力によつて、きりひらかれ、つみかさねられ、そして、いつまでも育てられてゆくことを、いま一度考えながら、写真ニュースのページを追ってまいりたいと思います。